



日本のファッション/スポーツウェア産業の人権ポリシーに関する

◎アンケート項目◎

企業名

(ブランド名)

※ブランドごとに方針が異なる場合、ブランドごとにご回答ください。

担当部署等

回答日

2018年 月 日

1. 人権方針について

1-1 貴社に、人権方針はありますか。

- ・ある
- ・ない

ある場合は、こちらにリンクを貼ってください。

1-2 人権方針は、世界人権宣言やILOの中核的労働基準、国連ビジネスと人権指導原則など、国際人権基準を明記していますか？

- ・している
- ・していない

1-3 人権方針には、国際人権基準が必ずしも守られていない国・地域で事業をされる場合の貴社の姿勢に触れていますか？

- ・している
- ・していない

1-4 人権方針には、方針その実施体制（特に取締役会の責任など）について明記されていますか？もしくは、他の方針やサイトの他の場所で明記されている場合は、そのリンクをこちらに貼ってください。

1-5 人権方針に関する社内の研修の実績などについて、明記されているリンクをこちらに貼ってください。



2. サプライヤーに対し人権方針の実施を確実にする方策

2-1 人権方針は、サプライヤーを含むビジネスパートナーにも尊重を求めていますか。もしくは、それを明記した他の方針（例えば調達方針など）がある場合は、そのリンクをこちらに貼ってください。

2-2 調達方針、Code of Conduct（行動規範）をサプライヤーに伝達、遵守してもらうためにこれまでに実施した措置を記載してください。

2-3 サプライヤーが人権を尊重していることはどのように確認していますか。
(複数回答可)

- ・定期的に監査をしている
- ・第三者に定期的な監査を依頼している
- ・監査は必要と判断した時のみ実施している。
- ・その他（自由記述）

3. サプライチェーンに関する人権デューディリジェンスの実施

3-1 サプライチェーンに関する人権デューディリジェンスは行っていますか。

- ・行っている
- ・行っていない
- ・その他（自由記述）

3-2 行っている場合、そのプロセスが説明されているリンクをこちらに貼ってください。
(リンクがない場合は概要を記述ください)。



3-3 行っている場合、今まで行ったデューディリジェンスの結果（人権リスクアセスメント：人権に対する負の影響のリスクに関する特定の事業や国などの調査、優先的に取り組むリスクの選定など）は公開していますか。

- ・公開している
- ・公開していない

公開している場合、こちらにリンクを貼ってください（多数ある場合、代表的なものでも結構です）

3-4 公開していない場合、それはなぜですか。

- ・契約相手などに対して守秘義務があるから
- ・公開する必要を感じないから

4. 監査情報の公開

サプライヤーに対する監査をされている場合（第三者に依頼している場合も含めて）、監査結果は公開していますか。

- ・公開している
- ・部分的に公開している。
具体的に公開の範囲を記載してください。

- ・公開していない

公開している場合、こちらにリンクを貼ってください。

5. サプライヤー情報の公開

5-1 商品のサプライヤーをどこまで把握されていますか。

- ・一次
- ・二次
- ・三次
- ・それ以降



5-2 サプライヤーリストを公開していますか。

- ・している
 - ・部分的にしている
具体的に範囲を特定してください。
()
 - ・していない
- ・している場合、こちらにそのリンクを貼ってください。

6. 女性執行役員・管理職比率

6-1 現在貴社における執行役員及び管理職に占める女性の比率は、何パーセントですか？

6-2 執行役員及び管理職に占める女性の比率を上げるための方針や計画が明記されているリンクをこちらに貼ってください。
(リンクがない場合は概要を記述ください)。

7. 児童労働

児童労働を生産過程からなくすために、どのような対策を講じていますか。対策の詳細が書かれてあるリンクがあれば、こちらに貼ってください。
(リンクがない場合は概要を記述ください)。

8. 強制労働、人身取引

強制労働や人身取引を生産過程からなくすために、どのような対策を講じていますか。対策の詳細が書かれてあるリンクがあれば、こちらに貼ってください。
(リンクがない場合は概要を記述ください)。



9. 安全衛生

生産過程における労働安全衛生を保護するためにどのような対策を講じていますか。を生産過程からなくすために、どのような対策を講じていますか。対策の詳細が書かれているリンクがあれば、こちらに貼ってください。

(リンクがない場合は概要を記述ください)。

10. 環境

生産過程における環境汚染、有害化学物質使用等に対し、どのような配慮を行っていますか。

11. 技能実習生

11-1 日本国内のサプライヤーを含むビジネスパートナーに、外国人技能実習生を雇用している会社はありますか。

- ・ある
- ・ない
- ・把握していない

11-2 あると答えた場合、技能実習生に対する人権侵害を防止するためにどのような対策を講じていますか。

11-3 把握していない場合、それは何故ですか。

- ・調査もしくは確認していない
- ・調査もしくは確認したが、明確な回答をもらっていない
- ・その他



12. 生活賃金

サプライヤーを含むビジネスパートナーにおいて、生活賃金 (Living Wage) の保障のためにどのような対策を講じていますか。

13. 差別・ハラスメント

13-1 性別や国籍・人種による差別・ハラスメントを禁止する規程、障がい者に対する合理的配慮に関する規程はありますか。

- ・ある
- ・ない

リンクがあれば、こちらに貼ってください。

13-2 サプライヤーにおける性別、国際、人種、障がい者に対する差別・ハラスメントを禁止するためにどのような活動をしていますか。

リンクがあれば、こちらに貼ってください。

(リンクがない場合は概要を記述ください)。

14. 是正のプロセス

14-1 今までサプライヤーで人権問題が判明した場合、貴社はどのように対応しましたか。
(複数回答可)

- ・サプライヤーと話し合い、改善を求めた
- ・サプライヤーと契約関係を停止した
- ・特に措置を講じなかった
- ・人権問題は確認していない。

14-2 サプライヤーに改善を要求した、もしくは契約関係を停止した場合、それらの詳細に関する情報は公開していますか。

- ・公開している。
- ・公開していない。
- ・公開している事例がある場合、そのリンクを貼ってください。



15. 救済手続き

15-1 企業活動によって人権に影響を受けた人が権利侵害を通報し、是正するための救済手続き（グリーバンス・メカニズム）はありますか。

- ・ある
- ・ない

ある場合、そのリンクをこちらに貼ってください。

15-2 救済手続きがある場合、その手続きはサプライヤーを含むビジネス・パートナーの労働者は利用できますか。

- ・はい
- ・いいえ

15-3 救済手続きは事業国において影響を受けた住民などは利用できますか。

- ・はい
- ・いいえ

15-4 その手続きにおいてはどのような言語を使うことが可能ですか。

- ・日本語
- ・英語
- ・その他（自由記述）

15-5 救済手続きの利用についての情報（申立ての方法やプロセス、申立ての件数や解決された案件の件数など）は公開していますか。

- ・公開している
- ・公開していない

公開している場合、こちらにリンクを貼ってください。

（以上です。ご協力ありがとうございました。）